グランスルー2型

取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。

●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。

●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

警告

● 門扉は人や車が出入りするためのものです。構造によって開閉する方法が異なりますので、設置の場所・目的に合わせて選択してください。

注意

● 正しく施工，組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
● 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
● 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

＜施工上のご注意＞

注意

● 扉走行床面は水平に仕上げてください。
● 電装商品の場合は配線工事を有資格者の専門業者にご依頼ください。
● 施工終了後は扉の開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

■梱包明細書

1 本体セット（基本）

名　称	略　図	員　数
引戸本体		1
転倒防止金具		4
1-① M6×16六角ボルト		8
1-② 平座金		8
1-③ バネ座金		8
後部ストッパー		1
前部ストッパー		1
1-④ M10×60オールアンカー		8
落し棒受け		1
戸当り板		1

1 本体セット（基本）（つづき）

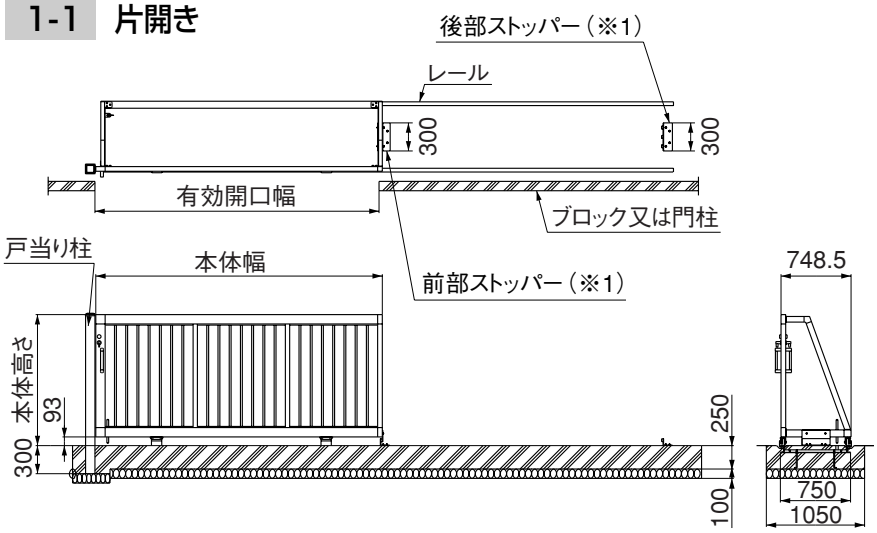
名　称	略　図	員　数
補強板		1
1-⑤ M8×65六角ボルト		2
1-⑥ M8六角ナット		2
1-⑦ M8バネ座金		2
取付説明書		1

2 本体セット（連結）

名　称	略　図	員　数
引戸本体		1
転倒防止金具		4
2-① M6×16六角ボルト		8
2-② 平座金		8
2-③ バネ座金		8
2-④ M8×102スタットボルト		2
2-⑤ M8六角袋ナット		4
2-⑥ M8バネ座金		4
2-⑦ M8×112スタットボルト		2
2-⑧ M8六角袋ナット		4
2-⑨ M8バネ座金		4

1. 姿図および基本寸法

1-1 片開き



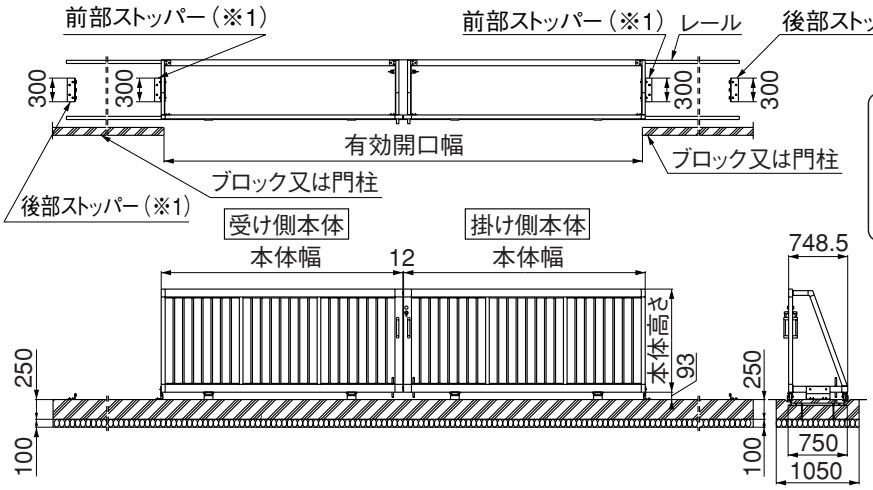
呼称	本体幅	有効開口幅	
		片引き	両引き
W:20	2076	2053	4094
W:30	3062	3039	6066
W:40	4048	4025	8038
W:50	3062+2026	5065	10118
W:60	3062+3012	6051	12090
W:70	4048+3012	7037	14062
W:80	4048+3998	8023	16034

呼称	本体高さ
H:12	1200
H:14	1400
H:16	1600

補 足

- 前部ストッパー・後部ストッパーは全体の納りを調整後取付けてください。（※1）

1-2 両開き

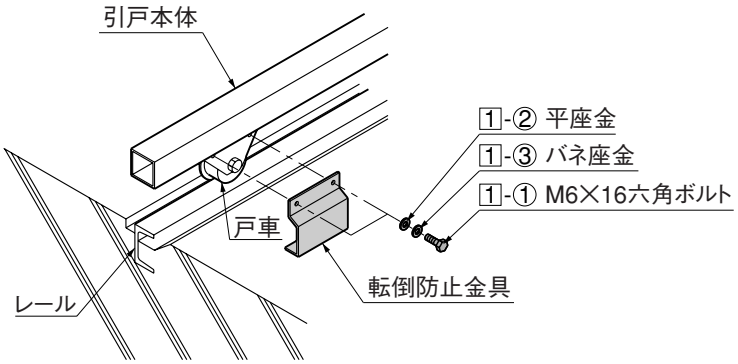


補 足

- 前部ストッパー・後部ストッパーは全体の納りを調整後取付けてください。（※1）

2. 転倒防止金具の取付け

※この図は本体セット（基本）を示します。

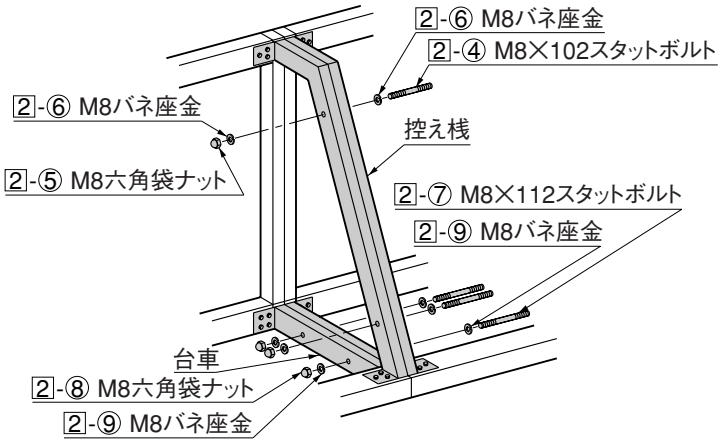


❶引戸本体をレールに乗せ、転倒防止金具を 1-①、1-②、1-③ で取付けてください。

補 足

- 本体セット（連結）の場合は 2-①、2-②、2-③ で取付けてください。

3. 本体の連結



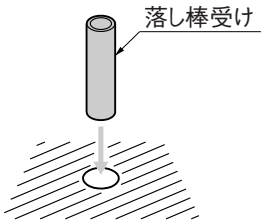
❶控え桟を 2-④、2-⑤、2-⑥ で連結してください。

❷台車を 2-⑦、2-⑧、2-⑨ で連結してください。

ポイント

- 連結する前に、連結する側の控え桟と台車の樹脂キャップを外してください。

4. 落し棒受けの取付け



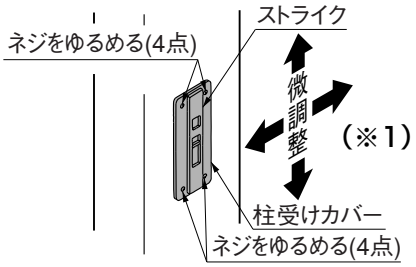
❶現場合わせで土間に穴をあけ、落し棒受けを埋込んでください。

補 足

- 落し棒に取付ける南京錠は別途購入してください。

5. 錠受けの調整

5-1 片開きの場合のストライク（錠受け）の調整

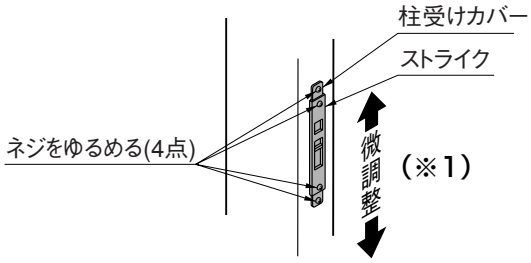


❶施工終了後､柱受けカバーのネジ4点をゆるめて錠本体とストライクの位置を合わせてください。

ポイント

- ストライク本体のネジは、外さないでください。
- ネジを外してしまうと裏板が外れ落ちてしまい、ふたたび組付けられなくなりますので絶対に外さないようにしてください。

5-2 両開きの場合のストライク（錠受け）の調整



❶施工終了後、ストライク・柱受けカバーのネジ4点をゆるめて、錠本体とストライクの位置を合わせてください。

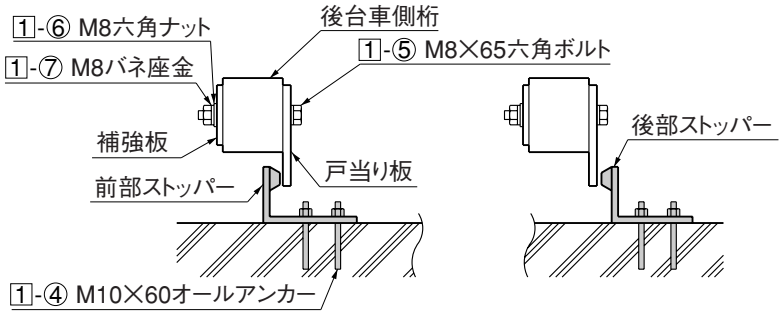
ポイント

- ネジ４点を外してしまうと裏板が外れ落ちてしまい、ふたたび組付けられなくなりますので絶対に外さないようにしてください。

補 足

- 微調整範囲のあるもので上下方向は約±5mm、左右方向は約±3mmを目安にしてください。（※1）

6. 前後ストッパーの取付け



前部ストッパー　　後部ストッパー

❶引戸を全開にした時、左図のように後部ストッパーを 1-④ で取付けてください。

❷引戸を全開にした時、左図のように前部ストッパーを 1-④ で取付けてください。

取説コード
D316
200109A_1001